

# 青森県景気ウォッチャー調査

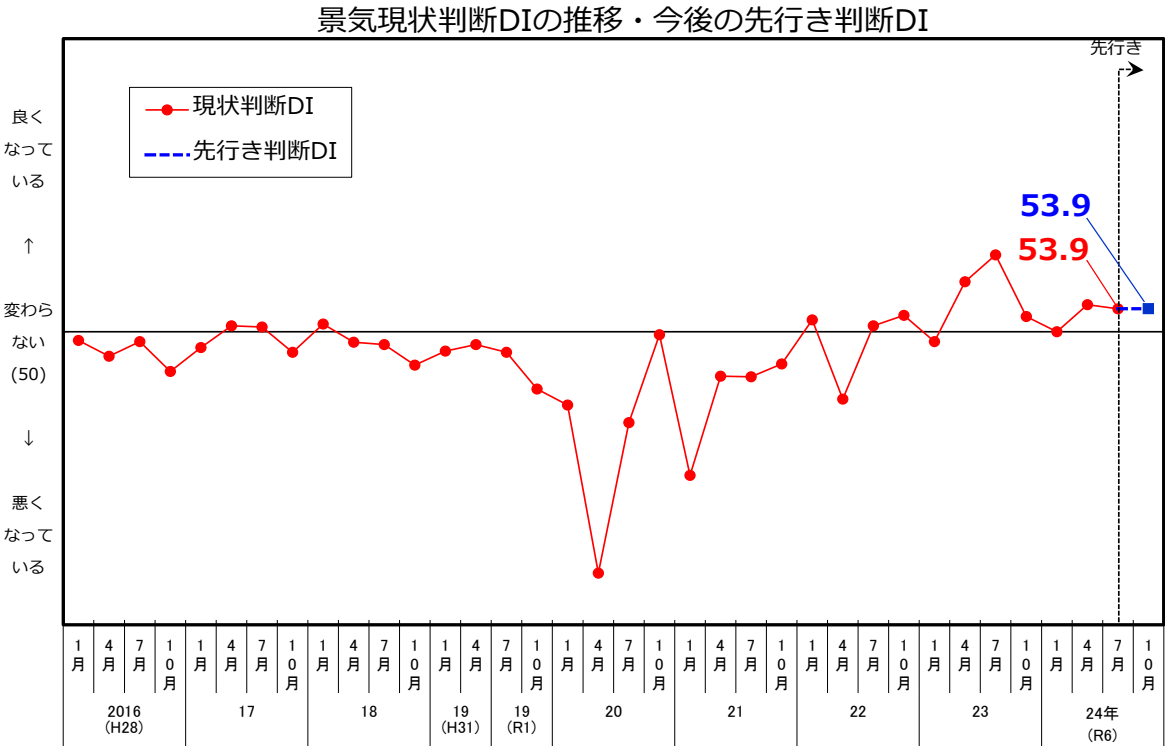
## 【2024(令和6)年7月期】

調査期間 2024(令和6)年7月1日～2024(令和6)年7月19日 回答率96%

### 概 況

7月期の景気の現状判断D Iは53.9となり、前期から0.7ポイント低下したものの、景気の横ばいを示す50を上回った。

先行き判断D Iは、現状判断D Iと同水準の53.9となった。



2024(令和6)年7月

青森県総合政策部統計分析課

## 1. 結果概要

### (1) 3か月前と比べた景気の現状判断DI

#### ① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が0.1ポイント上昇、「やや良くなっている」が1.7ポイント低下、「変わらない」が3.7ポイント低下、「やや悪くなっている」が9.5ポイント上昇、「悪くなっている」が4.1ポイント低下となった。

全体では53.9となり、前期から0.7ポイント低下したものの、景気の横ばいを示す50を上回った。

判断理由では、円安による原材料価格の高騰や、物価・エネルギー価格の高止まりにより、個人消費の低迷が長引いているという声が多くあった一方で、観光需要がインバウンドを含めて回復し、宿泊・飲食サービス業を中心に景況感が上向き、全体を押し上げているといった声もみられた。

#### ② 分野別の動向

前期調査と比べると、家計関連全体で2.6ポイント低下、企業関連で4.4ポイント上昇、雇用関連で7.1ポイント上昇となった。

#### ③ 地区別の動向

前期調査と比べて、東青で2.6ポイント、県南で2.5ポイント、下北（参考）で3.6ポイント上昇し、景気の横ばいを示す50を上回った。津軽では8.6ポイント低下したものの、景気の横ばいを示す50と同水準となった。

### (2) 3か月後の景気の先行き判断DI

#### ① 県全体の動向

今期調査の現状判断DIと比べると、「良くなる」が1.1ポイント低下、「やや良くなる」が1.1ポイント低下、「変わらない」が5.2ポイント上昇、「やや悪くなる」が3.1ポイント低下、「悪くなる」が同水準となった。

全体では53.9となり、今期調査の現状判断DIと同水準となり、景気の横ばいを示す50を上回った。

判断理由では、物価の上昇に賃金の上昇が追いついておらず、物価高の長期化から、消費者の節約志向が高まっているといった声が多くあった一方で、各地夏祭りに伴う観光客や帰省客も見込まれていることから景気の上向きを期待する声もあった。

#### ② 分野別の動向

今期調査の現状判断DIと比べて、家計関連全体で2.1ポイント低下、企業関連で7.4ポイント上昇、雇用関連で3.6ポイント上昇となった。

#### ③ 地区別の動向

今期調査の現状判断DIと比べて、東青で3.5ポイント、津軽で0.9ポイント上昇し、景気の横ばいを示す50を上回った。下北（参考）では8.3ポイント低下したものの、景気の横ばいを示す50を上回った。県南では1.6ポイント低下し、景気の横ばいを示す50を下回った。

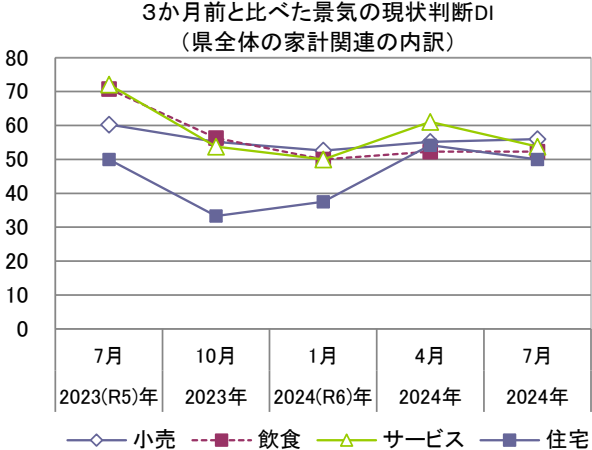
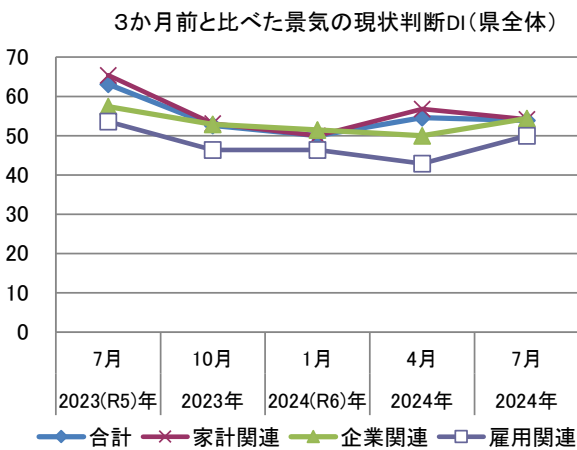
2. 県全体の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

①DI

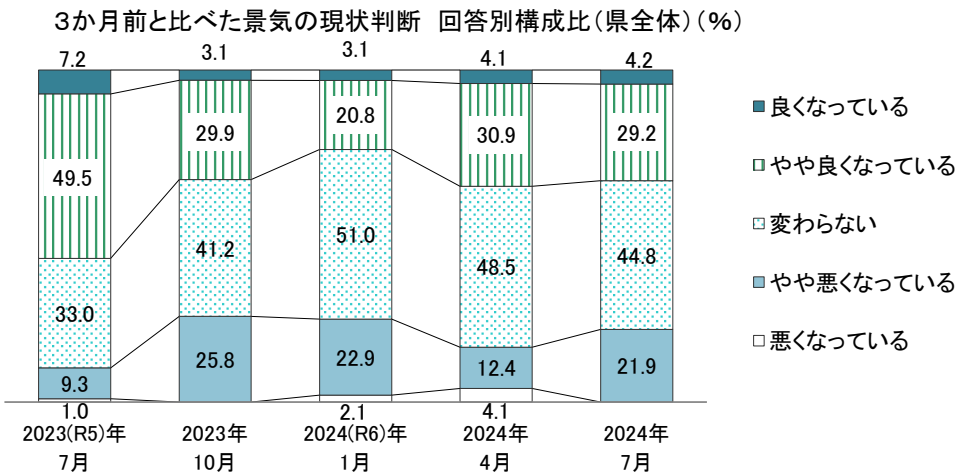
n = 96

	2023(R5)年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	前期調査 との差
合 計	63.1	52.6	50.0	54.6	53.9	▲ 0.7
家計関連	65.4	53.1	50.0	56.8	54.2	▲ 2.6
小売	60.3	55.2	52.6	55.2	56.0	0.8
飲食	70.8	56.3	50.0	52.3	52.3	0.0
サービス	72.1	53.8	50.0	61.1	53.8	▲ 7.3
住宅	50.0	33.3	37.5	54.2	50.0	▲ 4.2
企業関連	57.4	52.9	51.5	50.0	54.4	4.4
雇用関連	53.6	46.4	46.4	42.9	50.0	7.1



②回答別構成比 (%)

	2023(R5)年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	前期調査 との差
良くなっている	7.2	3.1	3.1	4.1	4.2	0.1
やや良くなっている	49.5	29.9	20.8	30.9	29.2	▲ 1.7
変わらない	33.0	41.2	51.0	48.5	44.8	▲ 3.7
やや悪くなっている	9.3	25.8	22.9	12.4	21.9	9.5
悪くなっている	1.0	0.0	2.1	4.1	0.0	▲ 4.1



(2) 3か月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3か月後の月で表記

① D I

n = 96

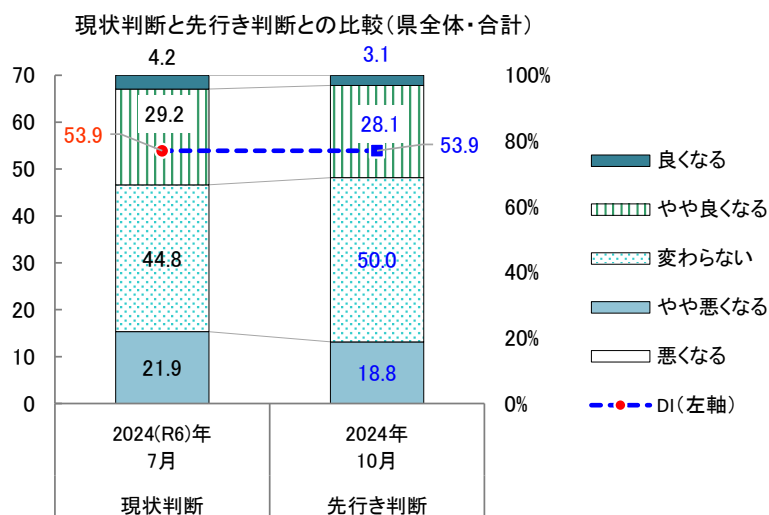
	2023(R5)年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	2024年 10月	前期調査 との差
合 計	61.1	47.7	50.0	57.7	53.9	▲ 3.8
家計関連	63.7	50.0	50.3	60.6	52.1	▲ 8.5
小売	60.3	50.0	51.7	56.0	50.0	▲ 6.0
飲食	70.8	62.5	52.3	65.9	52.3	▲ 13.6
サービス	68.3	47.1	49.0	63.9	54.8	▲ 9.1
住宅	45.8	37.5	45.8	58.3	50.0	▲ 8.3
企業関連	51.5	41.2	50.0	48.5	61.8	13.3
雇用関連	57.1	39.3	46.4	50.0	53.6	3.6

② 今期の現状判断D Iと先行き判断D Iとの比較

	現状判断 2024(R6)年 7月	先行き判断 2024年 10月	差
合 計	53.9	53.9	0.0
家計関連	54.2	52.1	▲ 2.1
小売	56.0	50.0	▲ 6.0
飲食	52.3	52.3	0.0
サービス	53.8	54.8	1.0
住宅	50.0	50.0	0.0
企業関連	54.4	61.8	7.4
雇用関連	50.0	53.6	3.6

・回答別構成比 (%)

	現状判断 2024(R6)年 7月	先行き判断 2024年 10月	差
良くなる	4.2	3.1	▲ 1.1
やや良くなる	29.2	28.1	▲ 1.1
変わらない	44.8	50.0	5.2
やや悪くなる	21.9	18.8	▲ 3.1
悪くなる	0.0	0.0	0.0



3. 地区別の動向

※下北地区については、サンプル数が少ないため、参考値とする。

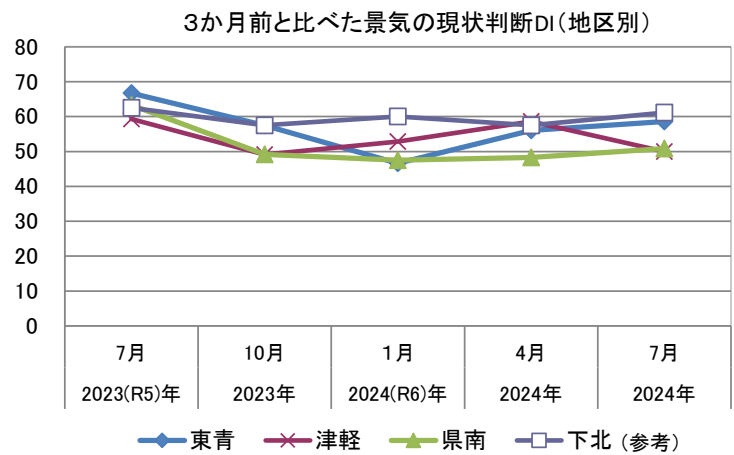
(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

<地区別>

①DI

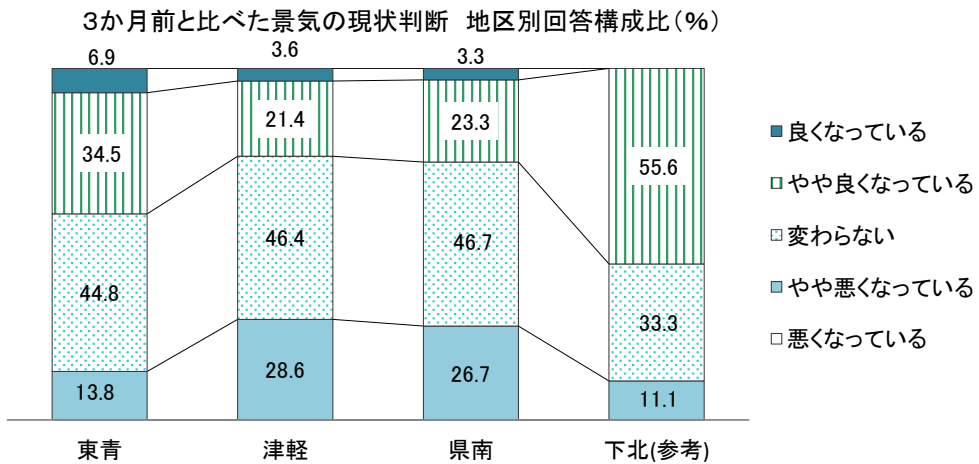
n = 96

	2023(R5)年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	前期調査 との差
合 計	63.1	52.6	50.0	54.6	53.9	▲ 0.7
東青	66.7	57.5	46.6	56.0	58.6	2.6
津軽	59.3	49.1	52.8	58.6	50.0	▲ 8.6
県南	63.3	49.2	47.5	48.3	50.8	2.5
下北	62.5	57.5	60.0	57.5	61.1	3.6



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北(参考)
良くなっている	6.9	3.6	3.3	0.0
やや良くなっている	34.5	21.4	23.3	55.6
変わらない	44.8	46.4	46.7	33.3
やや悪くなっている	13.8	28.6	26.7	11.1
悪くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0

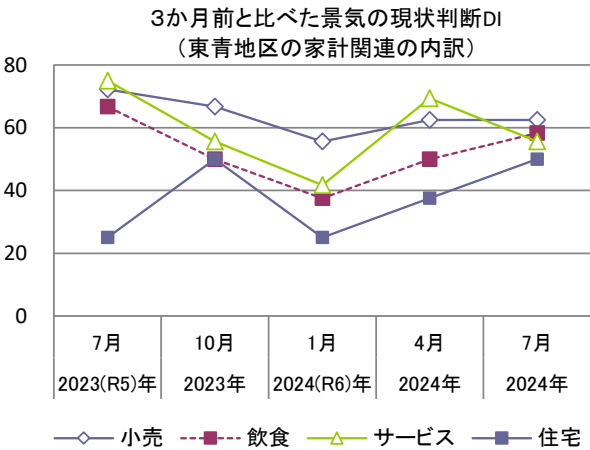
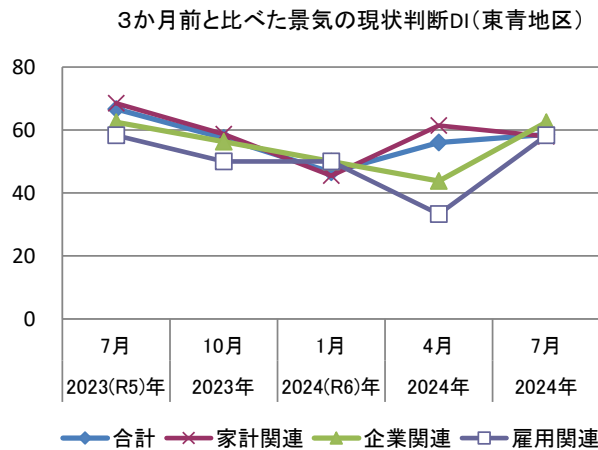


<東青地区>

①DI

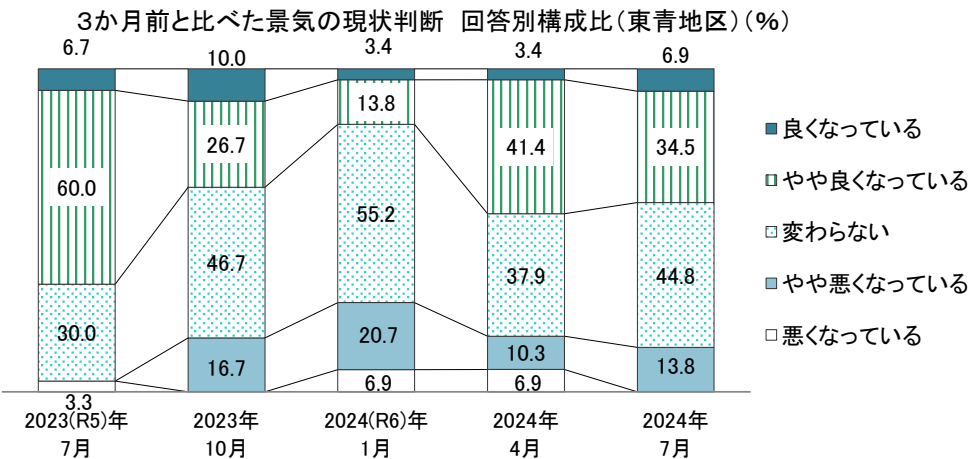
n = 29

	2023(R5)年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	前期調査 との差
合 計	66.7	57.5	46.6	56.0	58.6	2.6
家計関連	68.5	58.7	45.5	61.4	58.0	▲ 3.4
小売	72.2	66.7	55.6	62.5	62.5	0.0
飲食	66.7	50.0	37.5	50.0	58.3	8.3
サービス	75.0	55.6	41.7	69.4	55.6	▲ 13.8
住宅	25.0	50.0	25.0	37.5	50.0	12.5
企業関連	62.5	56.3	50.0	43.8	62.5	18.7
雇用関連	58.3	50.0	50.0	33.3	58.3	25.0



②回答別構成比 (%)

	2023(R5)年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	前期調査 との差
良くなっている	6.7	10.0	3.4	3.4	6.9	3.5
やや良くなっている	60.0	26.7	13.8	41.4	34.5	▲ 6.9
変わらない	30.0	46.7	55.2	37.9	44.8	6.9
やや悪くなっている	0.0	16.7	20.7	10.3	13.8	3.5
悪くなっている	3.3	0.0	6.9	6.9	0.0	▲ 6.9



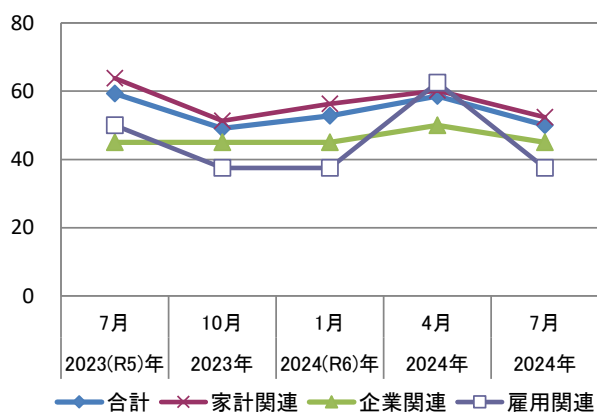
<津軽地区>

①DI

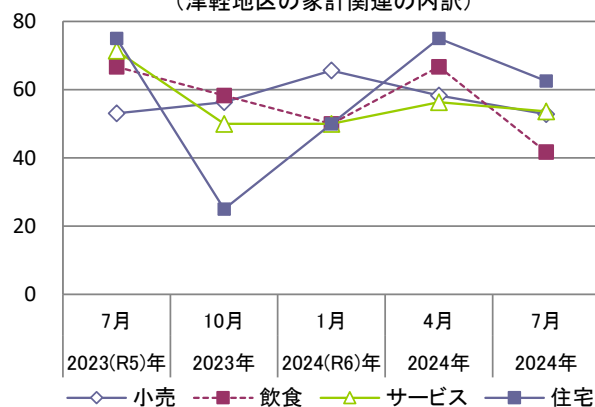
n = 28

	2023(R5)年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	前期調査 との差
合 計	59.3	49.1	52.8	58.6	50.0	▲ 8.6
家計関連	63.8	51.3	56.3	60.2	52.4	▲ 7.8
小売	53.1	56.3	65.6	58.3	52.8	▲ 5.5
飲食	66.7	58.3	50.0	66.7	41.7	▲ 25.0
サービス	71.4	50.0	50.0	56.3	53.6	▲ 2.7
住宅	75.0	25.0	50.0	75.0	62.5	▲ 12.5
企業関連	45.0	45.0	45.0	50.0	45.0	▲ 5.0
雇用関連	50.0	37.5	37.5	62.5	37.5	▲ 25.0

3か月前と比べた景気の現状判断DI(津軽地区)



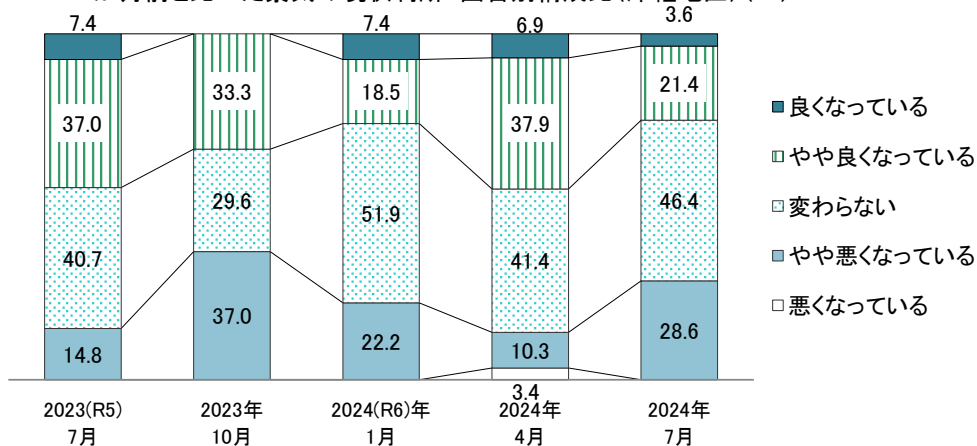
3か月前と比べた景気の現状判断DI  
(津軽地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	2023(R5) 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	前期調査 との差
良くなっている	7.4	0.0	7.4	6.9	3.6	▲ 3.3
やや良くなっている	37.0	33.3	18.5	37.9	21.4	▲ 16.5
変わらない	40.7	29.6	51.9	41.4	46.4	5.0
やや悪くなっている	14.8	37.0	22.2	10.3	28.6	18.3
悪くなっている	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	▲ 3.4

3か月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(津軽地区) (%)



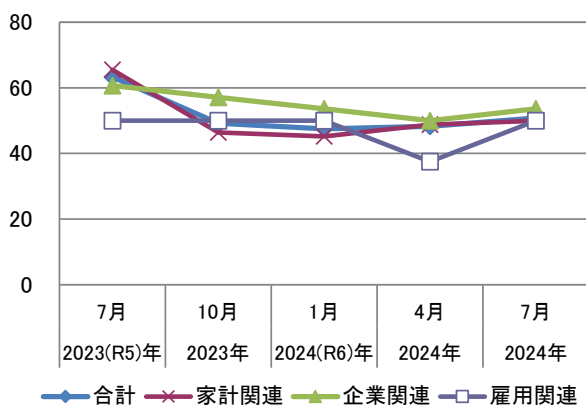
<県南地区>

①DI

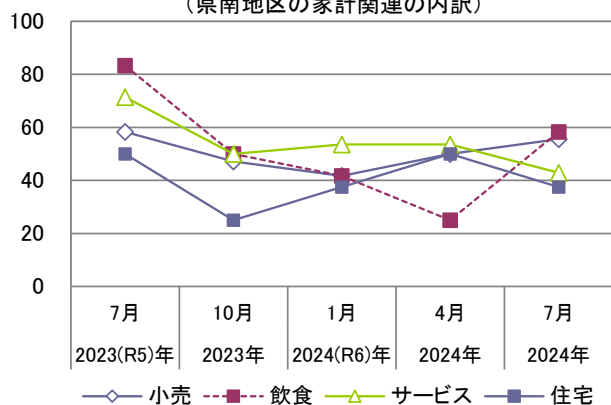
n = 30

	2023(R5)年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	前期調査 との差
合 計	63.3	49.2	47.5	48.3	50.8	2.5
家計関連	65.5	46.4	45.2	48.8	50.0	1.2
小売	58.3	47.2	41.7	50.0	55.6	5.6
飲食	83.3	50.0	41.7	25.0	58.3	33.3
サービス	71.4	50.0	53.6	53.6	42.9	▲ 10.7
住宅	50.0	25.0	37.5	50.0	37.5	▲ 12.5
企業関連	60.7	57.1	53.6	50.0	53.6	3.6
雇用関連	50.0	50.0	50.0	37.5	50.0	12.5

3か月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



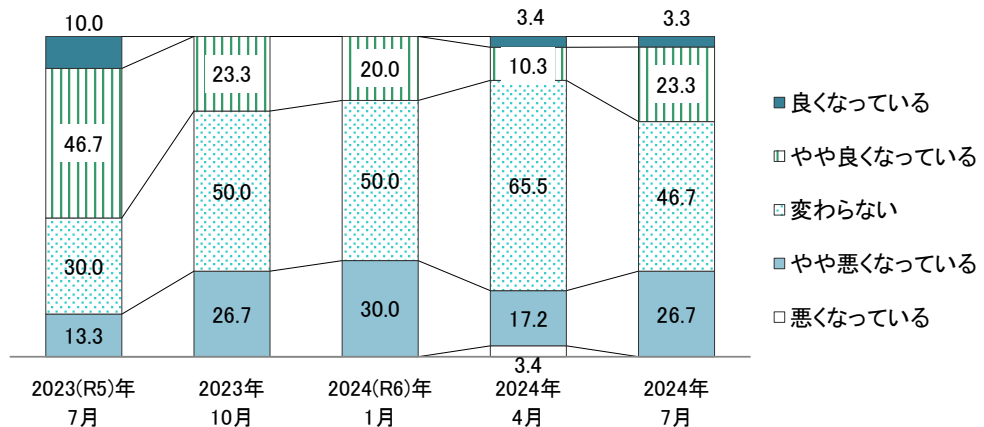
3か月前と比べた景気の現状判断DI  
(県南地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	2023(R5)年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	前期調査 との差
良くなっている	10.0	0.0	0.0	3.4	3.3	▲ 0.1
やや良くなっている	46.7	23.3	20.0	10.3	23.3	13.0
変わらない	30.0	50.0	50.0	65.5	46.7	▲ 18.8
やや悪くなっている	13.3	26.7	30.0	17.2	26.7	9.5
悪くなっている	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	▲ 3.4

3か月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)(%)





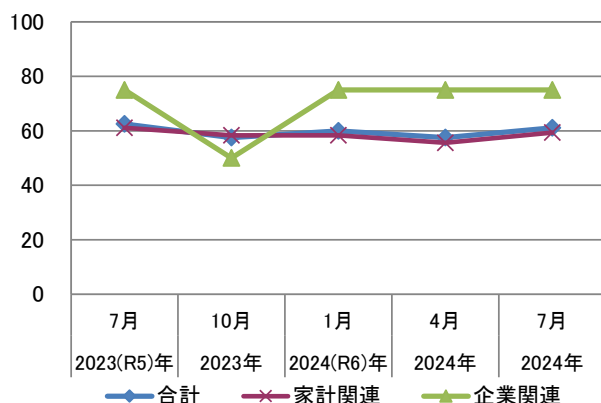
<下北地区> (参考)

① D I

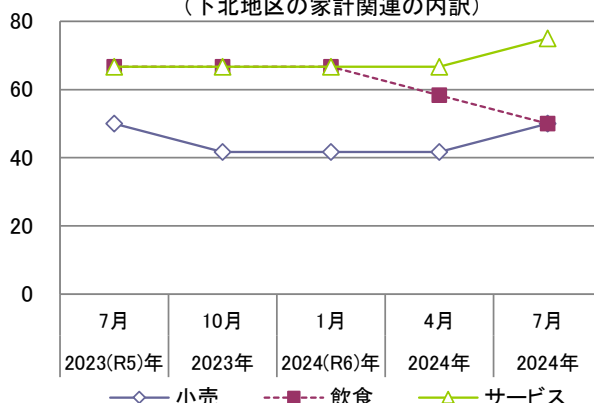
n = 9

	2023(R5)年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	前期調査 との差
合 計	62.5	57.5	60.0	57.5	61.1	3.6
家計関連	61.1	58.3	58.3	55.6	59.4	3.8
小売	50.0	41.7	41.7	41.7	50.0	8.3
飲食	66.7	66.7	66.7	58.3	50.0	▲ 8.3
サービス	66.7	66.7	66.7	66.7	75.0	8.3
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	50.0	75.0	75.0	75.0	0.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

3か月前と比べた景気の現状判断DI(下北地区)



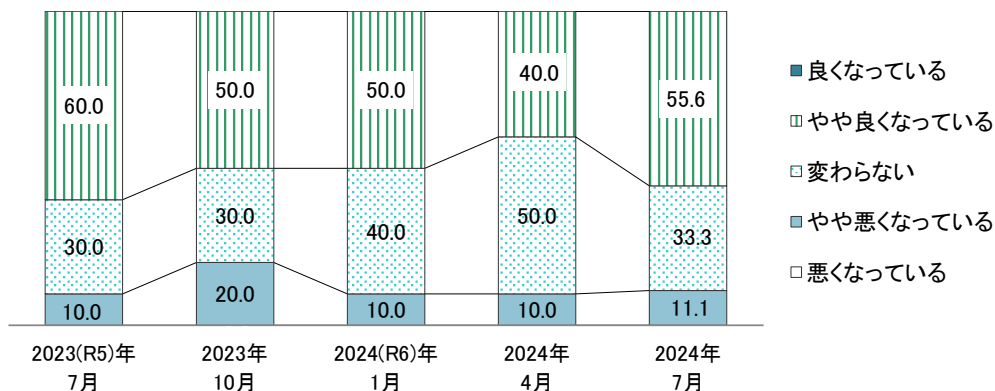
3か月前と比べた景気の現状判断DI  
(下北地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	2023(R5)年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	60.0	50.0	50.0	40.0	55.6	15.6
変わらない	30.0	30.0	40.0	50.0	33.3	▲ 16.7
やや悪くなっている	10.0	20.0	10.0	10.0	11.1	1.1
悪くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

3か月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(下北地区)(%)



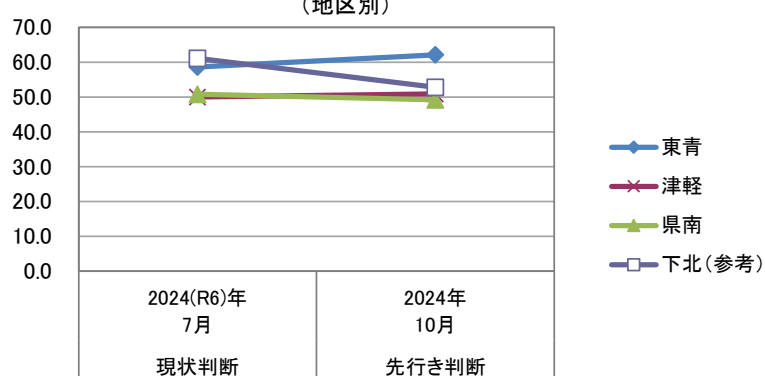
(2) 3か月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3か月後の月で表記

<地区別>

① 今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較

n = 96	現状判断 2024(R6)年 7月	先行き判断 2024年 10月	差
合 計	53.9	53.9	0.0
東青	58.6	62.1	3.5
津軽	50.0	50.9	0.9
県南	50.8	49.2	▲ 1.6
下北	61.1	52.8	▲ 8.3

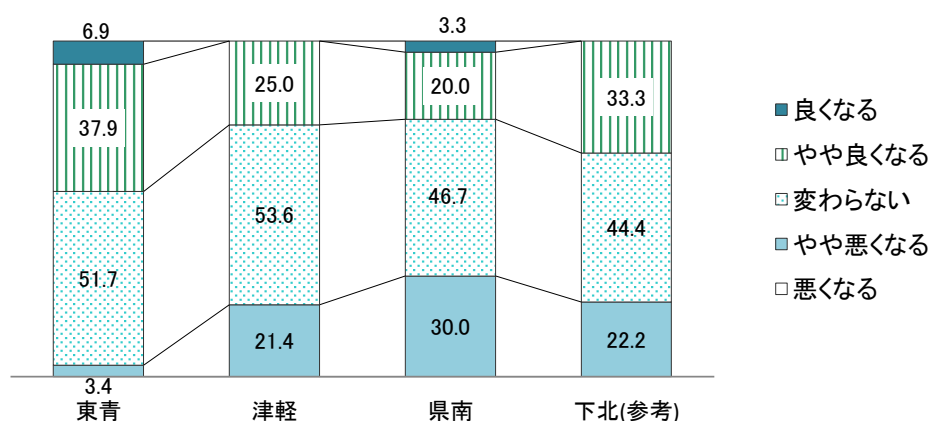
今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較  
(地区別)



② 地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北(参考)
良くなる	6.9	0.0	3.3	0.0
やや良くなる	37.9	25.0	20.0	33.3
変わらない	51.7	53.6	46.7	44.4
やや悪くなる	3.4	21.4	30.0	22.2
悪くなる	0.0	0.0	0.0	0.0

3か月後の景気の先行き判断 地区別回答構成比(%)



<東青地区> ※表及びグラフでは各調査期の3か月後の月で表記

① D I

n = 29	2023(R5)年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	2024年 10月	前期調査 との差
合 計	64.2	46.7	52.6	61.2	62.1	0.9
家計関連	67.4	46.7	53.4	63.6	62.5	▲ 1.1
小売	72.2	55.6	61.1	71.9	65.6	▲ 6.3
飲食	75.0	75.0	62.5	50.0	66.7	16.7
サービス	66.7	30.6	41.7	63.9	63.9	0.0
住宅	37.5	37.5	62.5	50.0	37.5	▲ 12.5
企業関連	56.3	43.8	43.8	62.5	68.8	6.3
雇用関連	50.0	50.0	58.3	41.7	50.0	8.3

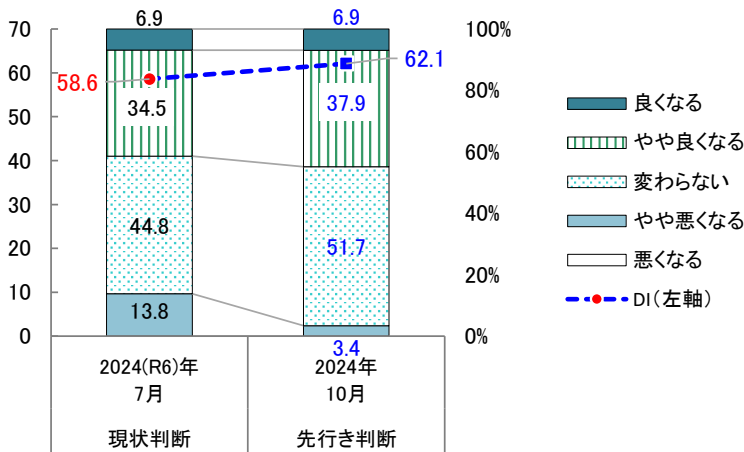
② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 2024(R6)年 7月	先行き判断 2024年 10月	差
合 計	58.6	62.1	3.5
家計関連	58.0	62.5	4.5
小売	62.5	65.6	3.1
飲食	58.3	66.7	8.4
サービス	55.6	63.9	8.3
住宅	50.0	37.5	▲ 12.5
企業関連	62.5	68.8	6.3
雇用関連	58.3	50.0	▲ 8.3

・回答別構成比 (%)

	現状判断 2024(R6)年 7月	先行き判断 2024年 10月	差
良くなる	6.9	6.9	0.0
やや良くなる	34.5	37.9	3.4
変わらない	44.8	51.7	6.9
やや悪くなる	13.8	3.4	▲ 10.4
悪くなる	0.0	0.0	0.0

現状判断と先行き判断との  
比較(東青・合計)



<津軽地区> ※表及びグラフでは各調査期の3か月後の月で表記

① D I

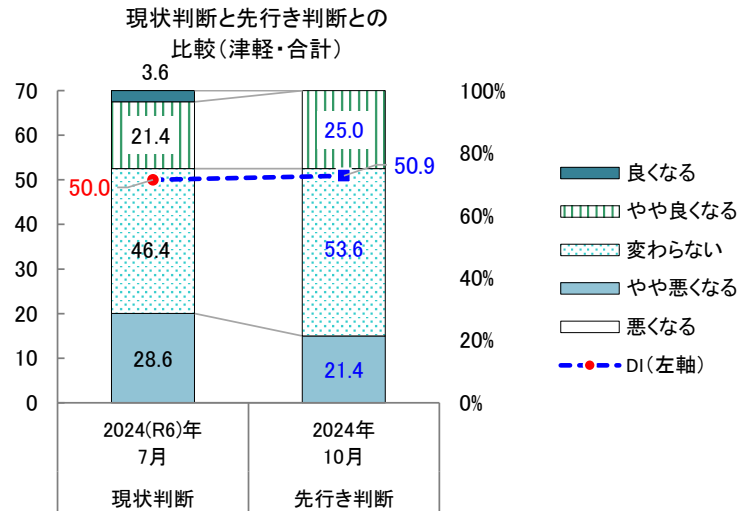
n = 28		2023(R5)年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	2024年 10月	前期調査 との差
合 計		59.3	49.1	50.9	60.3	50.9	▲ 9.4
家計関連	家計関連	62.5	56.3	52.5	64.8	47.6	▲ 17.2
	小売	53.1	59.4	56.3	61.1	44.4	▲ 16.7
	飲食	75.0	66.7	50.0	66.7	41.7	▲ 25.0
	サービス	71.4	50.0	50.0	65.6	53.6	▲ 12.0
	住宅	50.0	50.0	50.0	75.0	50.0	▲ 25.0
企業関連		45.0	30.0	50.0	40.0	60.0	20.0
雇用関連		62.5	25.0	37.5	62.5	62.5	0.0

② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

		現状判断 2024(R6)年 7月	先行き判断 2024年 10月	差
合 計		50.0	50.9	0.9
家計関連	家計関連	52.4	47.6	▲ 4.8
	小売	52.8	44.4	▲ 8.4
	飲食	41.7	41.7	0.0
	サービス	53.6	53.6	0.0
	住宅	62.5	50.0	▲ 12.5
企業関連		45.0	60.0	15.0
雇用関連		37.5	62.5	25.0

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 2024(R6)年 7月	先行き判断 2024年 10月	差
良くなる	3.6	0.0	▲ 3.6
やや良くなる	21.4	25.0	3.6
変わらない	46.4	53.6	7.2
やや悪くなる	28.6	21.4	▲ 7.2
悪くなる	0.0	0.0	0.0



<県南地区> ※表及びグラフでは各調査期の3か月後の月で表記

① D I

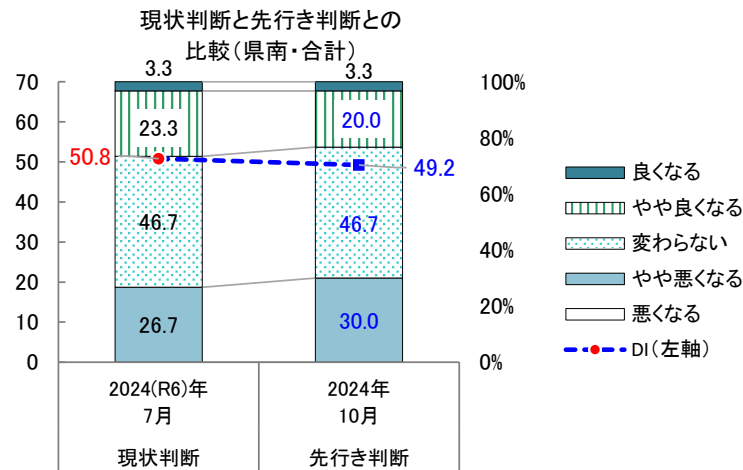
n =	30	2023(R5)年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	2024年 10月	前期調査 との差
合 計		60.8	46.7	46.7	51.7	49.2	▲ 2.5
家計関連		64.3	47.6	46.4	55.0	46.4	▲ 8.6
小売		63.9	38.9	38.9	44.4	44.4	0.0
飲食		66.7	58.3	50.0	87.5	58.3	▲ 29.2
サービス		67.9	60.7	60.7	60.7	39.3	▲ 21.4
住宅		50.0	25.0	25.0	50.0	62.5	12.5
企業関連		50.0	46.4	50.0	42.9	57.1	14.2
雇用関連		62.5	37.5	37.5	50.0	50.0	0.0

② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 2024(R6)年 7月	先行き判断 2024年 10月	差
合 計	50.8	49.2	▲ 1.6
家計関連	50.0	46.4	▲ 3.6
小売	55.6	44.4	▲ 11.2
飲食	58.3	58.3	0.0
サービス	42.9	39.3	▲ 3.6
住宅	37.5	62.5	25.0
企業関連	53.6	57.1	3.5
雇用関連	50.0	50.0	0.0

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 2024(R6)年 7月	先行き判断 2024年 10月	差
良くなる	3.3	3.3	0.0
やや良くなる	23.3	20.0	▲ 3.3
変わらない	46.7	46.7	0.0
やや悪くなる	26.7	30.0	3.3
悪くなる	0.0	0.0	0.0



<下北地区>（参考） ※表及びグラフでは各調査期の3か月後の月で表記

① D I

n = 9		2023(R5)年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	2024年 10月	前期調査 との差
合 計		57.5	50.0	50.0	57.5	52.8	▲ 4.7
家計関連	家計関連	55.6	50.0	47.2	55.6	50.0	▲ 5.6
	小売	33.3	41.7	50.0	33.3	41.7	8.4
	飲食	66.7	50.0	50.0	66.7	37.5	▲ 29.2
	サービス	66.7	58.3	41.7	66.7	66.7	0.0
	住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連		75.0	50.0	75.0	75.0	75.0	0.0
雇用関連		-	-	-	-	-	-

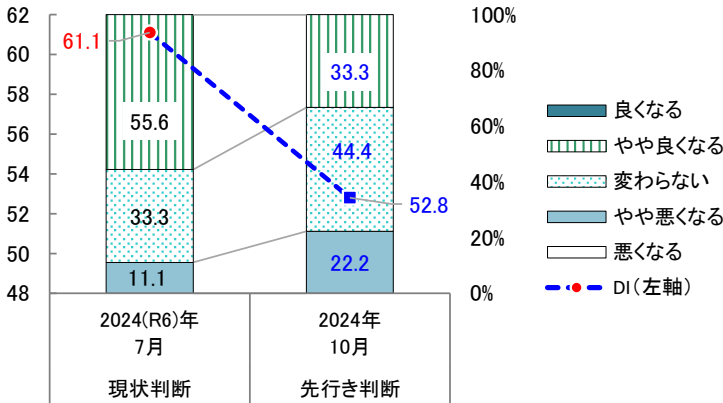
② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

		現状判断 2024(R6)年 7月	先行き判断 2024年 10月	差
合 計		61.1	52.8	▲ 8.3
家計関連	家計関連	59.4	50.0	▲ 9.4
	小売	50.0	41.7	▲ 8.3
	飲食	50.0	37.5	▲ 12.5
	サービス	75.0	66.7	▲ 8.3
	住宅	-	-	-
企業関連		75.0	75.0	0.0
雇用関連		-	-	-

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 2024(R6)年 7月	先行き判断 2024年 10月	差
良くなる	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	55.6	33.3	▲ 22.3
変わらない	33.3	44.4	11.1
やや悪くなる	11.1	22.2	11.1
悪くなる	0.0	0.0	0.0

現状判断と先行き判断との  
比較(下北・合計)



## 4. 判断理由

### (1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
良くなっている	家計	東青	一般小売店	4、5月は駅東口駅ビル開業など中心街の再開発完了、行動制限のないGW、国内人流の活性化、過去最多数のクルーズ船寄港や航空国際定期便再開をはじめとするインバウンドの回復等、好材料が目に見え、且つきちんと数字にも表れている。6月も観光業界では、絆まつりが当市で開催された昨年の数字を上回っている。
			観光名所等	来館者が増えている。大人の休日パス利用者も例年より増加。
		津軽	商店街	さくらまつり、ねぷたまつりと大きい祭りを2回過ぎると外出癖が増加するはず。
やや良くなっている	家計	東青	卸売業	商品の値上げが続き消費者の買い上げ点数が減っている。
			衣料専門店	式典、各種団体会合が通常通り開催され、着用する洋服の需要が増えている。来店者の笑顔が良い。
			美容院	いろいろな物が値上がりしましたが、それなりに対応しているように思います。慣れるというよりは、そうしていかなければという生活態度があるように見えます。
			旅行代理店	お客様より仕事の受注の数が増えている(昨年比的にも)。
			商店街	新施設もオープンし、街なかの人通りが増えている。GWにはインバウンドを含め観光客も多く、飲食店の予約も非常にとりづらい状況であった。現在、昨年の暑さの記憶が新しいのと実際に暑さが早く来たので季節商品の動きも活発。
			スナック	良くなっている…と思ってますが決して良くなっていないですね。居酒屋さんがうらやましいです。
		津軽	百貨店・スーパー	売り上げ増加。
			設計事務所	建築業界は業務量が多くとても好景気のようにです。建築関連である設計事務所も同様に景気は上向きです。設計した物件の見積もり依頼を建設業者数社にお願いしますが、人手が足りないということで断られるケースが多くなりました。
			旅行代理店	会合が増え人の動きも多くなっていると感じる。
			コンビニ	イベントが弘前城や岩木山や河川敷であったおかげで少しですが恩恵がありました。
			都市型ホテル	宿泊客が増加している。
		県南	スナック	お客様の数が増えた。
			一般飲食店	季節的な関係や各種イベントなどで、人出が増えている。そんな要因と考えられる。
			卸売業	御中元の時期を迎え、ギフトの注文が増えている。宴会や飲み会などの予約が入ってきている。
			商店街	業種は絞られるが飲食、宿泊等はお客様の動きがあるように感じる。
			一般小売店	イベントや商業施設のリニューアル等が目立ってきた。
		下北	タクシー	新紙幣が発行になり、キャッシュレス時代の若者にも興味が出てお金の動きが出ると思います。

現状	分野	地区	業種	理由
やや良くなっている	家計	下北	都市型ホテル	昨年からです、春から宿泊数が増え冬になるまでの間満室の日が多くなっています。また、企業の総会時期でしたが、総会後の懇親会も確実に増えています。
			ガソリンスタンド	総会後の懇親会がコロナ禍前のように通常開催する団体が多くなり、飲食店も潤ってきているのではないかと感じられる。また観光客も昨年に比べて増えてきているように感じられる。その反面、物価高騰で家計や会社の経費が圧迫されていると思われる。
	企業	東青	経営コンサルタント	食料品関係では、円安、原材料高、消費者の節約志向による売上の伸び悩みが影響し、景況は下向きである。ただし、観光需要がインバウンドを含めて回復し、宿泊・飲食サービス業を中心に景況感が上向き全体を押し上げている。
		津軽	電気機械製造	受注量が増加しているため。
		県南	飲料品製造	会合等が正常におこなわれ街中へも人の流れが感じられる。また直売所への観光客なども増えている。
		下北	食料品製造	お客様の増加。
	雇用	東青	人材派遣	各企業での求人数が少し上昇している。
変わらない	家計	東青	百貨店	これまでに比べ、セールや割引などへの反応が大きくなっているから。
			百貨店・スーパー	値上げにより価格の上昇はまだ続いているため、必要以上の買い物はしない傾向が継続している。結果として1回あたりのお客様の購入金額は変わっていないため。
			一般飲食店	ゴールデンウィークに集中していたのが、その前後は人の動きがあまりなかったです。例年に比べると6月はやや人が動いた感もあるのですが、景気回復とまでは言えない気もしています。
			レストラン	県外のお客様が多い時には地元のお客様が少なかったり、また逆の時もあるので、そんなに変化はしてないと思う。毎年のことだけど、ねぶた祭などで盛り上がって観光客もたくさん来てくれることを信じて良くなっている。
			住宅建設販売	全体的には上向きに感じられるが、地元関係者の状況をみると決して景気が良いとは感じられない。また4月からの働き方改革が物流コストアップや納期遅れに影響し建設業においては工事工程に大きく影響している。地元企業では賃金アップがあまり見られない上に、生活コストの値上がり日々の生活と将来投資を後ろ向きにしている。
			設計事務所	円安のままでは経済的にも心理的にも大きな負担と不安が晴れることなくのしかかっています。建築資材の値上がり、職人の減少などマイナス要因はありますが、物件数は発生しており業界は回っております。
			娯楽業	売上が良い月があれば、翌月下がりたりで安定しないです。
		津軽	美容院	去年に続き今年の春に二度目の値上げをしたが、お客様も事情を受け入れてくれて客足にもあまり影響は無いようだ。
			観光名所等	期待していた台湾からのお客様が少なかった。
			レストラン	3か月前はさくら祭り期間であり、観光客等の需要があったが、現在は、特に何も無い。
			家電量販店	物価上昇と賃金アップとの関係。
			スナック	コロナの影響等はないが物価高などの影響。



現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	津軽	住宅建設販売	新築工事は減っているが、リフォーム工事は増えているので。
		県南	百貨店・スーパー	売上高の変化が見られない。
			ガソリンスタンド	物価の上昇は止まらず、家計における消費支出が控え目になっているように感じられる。貯蓄性向が高いと言われているが、その部分においてかろうじて均衡を保っている状況ではないかと思う。
			コンビニ	売上、客数とも、ほぼ同じで変わっていない。
			衣料専門店	生活コストの値上げ、食料品コスト、エネルギーコスト、サービスコスト等。
			家電量販店	売上実績は前年を上回っていますが、内容は夏場に多く売れるエアコンの販売の前倒しの売上となっています。6月からの定額減税の効果としては感じない。
			乗用車販売	定額減税が6月から実施されていますが、可処分所得での実感がわからないとの声が多くでている。
		下北	百貨店・スーパー	インバウンド等の需要拡大の反面、円安による原材料費、配送費等の高騰により立場が大きく変化しているため。
			コンビニ	インバウンドも来ない。競合は増える。人口も減る。
	企業	東青	広告・デザイン	政府が、8月から3か月間の「酷暑乗り切り緊急支援」（8月・9月・10月分、3か月について電気・ガス料金補助）、年金世帯や低所得者、地方経済に焦点を絞って、物価高の中で食費の高騰などに苦しんでおられる年金世帯や低所得者世帯を対象として、追加の給付金で支援の二段構えの対策を明言する等、中々物価高騰が収まらず、消費控えが見られる感がある。
			食料品製造	インバウンドビジネス関係者を相手にできる企業は好調のようですが、水産は食傾向の変化で家庭における水産物の購入比率はさがっております。海水温の上昇とドライバー問題、働き手問題、とにかく厳しいです。
		津軽	経営コンサルタント	特に何かの業種で良いということも聞かないが、全体的に悪くはない。物価が上がっているのも価格転嫁されていると思う。よく今年の最低賃金はいつ頃いくら位上がるだろうかということは話題に上がるので、人件費の高騰についてはみんな悩みどころである様子だ。
			食料品製造	良くもなく悪くもなく。
		県南	経営コンサルタント	飲食業、宿泊業は、人流の増加で引き続き売上が増加傾向であるが、製造業、水産加工業については、エネルギー価格、原材料価格の高騰が継続している状況である為。
			広告・デザイン	仕事量はほぼ変わらないが、物価上昇や円安の影響で仕入れ金額も上がり利益が下がっている。かと言って簡単に値上げも出来ず売上が下がっている。
			建設	レジャーやショッピングなど外出動向は以前より高くなっているものの、様々な食品、電気、燃料、資材、材料などが数か月おきに値上げが繰り返されていて、家庭では節約志向が続いて出費額は抑えられる傾向にある。
			電気機械製造	戦争や紛争、日本の一般市民としては実質手取額の減少があり、円安で、何ごとにもお金を節約し出費を抑える動きが強い。

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	企業	県南	食料品製造	インバウンド需要が伸びてきているが、一部の業界だけが潤っている感じ。
	雇用	東青	求人情報誌	観光などを中心に売上が伸びていると聞いているが、その利益が労働者に回っている実感がない。
			新聞社求人広告	物価、エネルギー価格の高止まりの影響で、消費を控える傾向は変わっていないと思うので。
		津軽	新聞社求人広告	長引く物価の高騰、人手不足などで取引先から景気のいい話が聞こえてこない。
やや悪くなっている	家計	東青	タクシー	平日のスーパーマーケットの人の出が少なすぎる上、大手スーパーが撤退する理由も理解できる程の昼の老人たちの時間つぶしスペース化が顕著になっている。特に日中の暑さを感じるようになってからというものこれらの現象は著しく加速している様だ。野生動物の人間界への進出も大きな問題だし景気を引き下げる要因のひとつとなっている。日本国機能の一極集中化や人間の移動も限定されたモノになってきている事は間違いない。徹底した無駄の排除をせざるを得ないという事実も大いなる問題なのではないか。
			都市型ホテル	観光シーズンを迎え、宿泊単価は上昇しているものの、昨年実施されていた旅行支援の反動で旅行需要が低下しているように感じる。会議・宴会需要は昨年同様の動き。
			家電量販店	小売業を中心に円安によって原材料の輸入価格が上昇し、物価高となり個人消費の低迷が長引いている。また、人手不足から賃上げに踏み切る中小企業が増えているが、物価高で実質賃金マイナスが続き2022年から家計悪化となる深刻な状況と考える。
		津軽	一般小売店	前年比が3か月前と比べて1ポイント下がったので。
			衣料専門店	物価高。コロナ禍はいろんな補助金があったが今は全くない。あってもお米券で商店街には関係ない。
		県南	旅行代理店	物価が上がっていて先が見えない。
			観光名所等	客入数、売上共に減少傾向である。
			レストラン	当市の中心街に人が居ない。
			百貨店・スーパー	電気料金・ガス料金の補助終了、飲食料品の値上がり、ガソリン代の値上がり。
			タクシー	2023年6月に料金改定したにも関わらず、同業者（同地区）ともに前年割の状況になっている。ニュースなどでは、インバウンド需要もコロナ前に戻った（超えた）との話も耳にするが、地域的に恩恵を受けていない。一般の需要が戻らないことには景気がよくなったとは思えない。
			住宅建設販売	新築住宅よりも中古住宅の売上割合が増加している。
			美容院	マスコミや世間話で日用品、生鮮食品の値上げが報道されているせいか、心の中の危機感が表面に見えて来ている様に感じられます。
		下北	レストラン	物価の高騰。
	企業	津軽	飲料品製造	物価は上昇しているが、収入はそれに対応していない。
	雇用	県南	人材派遣	業種業界によって景気観に差はあるが、全体的に円安、原燃料費高騰に係る課題が未だ解決できておらず、企業経営が厳しい様に見える。

## (2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	一般小売店	駅東口駅ビル開業など中心街の再開発完了、行動制限のないGW、国内人流の活性化、過去最多数のクルーズ船寄港や航空国際定期便再開をはじめとするインバウンドの回復等による効果が、ねぶた祭～お盆～秋の行楽まで引き続き持続すると思われるから。
			観光名所等	観光シーズン到来。夏休み、ねぶた祭、お盆、紅葉シーズンと続く。
		県南	スナック	暖かくなれば、人が出てくると思う。
やや良くなる	家計	東青	商店街	ねぶたも通常開催で、昨年よりさらに人の動きが活発になることが期待できる。ただ、光熱費やその他の物価が高止まり気味で、何のきっかけで消費マインドが冷えるかは常に気になる所。
			一般飲食店	夏の暑さが昨年同様にもものすごく暑くなるらしいですが、その辺で色々影響があるのだろうと思ってます。当市はこれからねぶた等もあるのでその辺で人も動くと思ってます。
			旅行代理店	現在、先四半期まで仕事の受注は増えているため。
			衣料専門店	駅が商業・宿泊・公共展示空間の総合施設で新装オープン、中心商店街区の賑わいが増している。当地は大きな災害もなく天候良好でイベント等も予定通り好評開催されている。中心街に隣接する埠頭にはクルーズ船が過去最高で寄港し、空路も国際線が増便、新幹線も好調である。インバウンド効果は来街者の顔ぶれからも明らかで街は活況している。「青森ねぶた祭＆花火大会」の前売り券販売は好調と聞く。ワクワクしてくる。
			都市型ホテル	ねぶた祭りは昨年を超える売上を見込み、9月もスポーツ、商工団体系の大会があり、宿泊需要は高まると見ております。
			百貨店・スーパー	前年同様、各地区の祭りやイベントで帰省客、観光客が増える。消費も増えることで、その期間だけでなく、その後の地域経済へプラスになると思われるため。
			スナック	期待するのみです。スナック店は大変です。厳しい毎日です。
	企業	津軽	旅行代理店	客船の寄港も増えているし、インバウンドも増えてきているように感じる。夏祭りも賑わいを取り戻すことを期待して。
		県南	一般小売店	景気という言葉は全体的な意味を持つが、回復の早い業種と難しい業種に分かれるので良くなるとは言えない。
			商店街	暑くなりそうで、季節物に動きがありそうに思える。
		下北	ガソリンスタンド	夏祭りやお盆の帰省で県外からの来訪者が増えると思われるため。海外からの観光客が増えれば良いのだが...
			タクシー	パリオリンピックの影響もあり、人・物の動きが活発になると思います。
	企業	東青	広告・デザイン	8月からの「酷暑乗り切り緊急支援」、物価高の中で食費の高騰などに苦しんでおられる年金世帯や低所得者世帯を対象として、追加の給付金で支援の二段構えの対策での効果を期待する。

先行き	分野	地区	業種	理由
やや良くなる	企業	東青	食料品製造	他県から比較するとやはり過ごしやすい青森県、夏祭りにむけて観光客は増えるでしょう。有料観覧席も売り切れ続出。期待したいです。
		津軽	経営コンサルタント	各地夏祭りに伴う観光客や帰省客も見込まれていることから景気は上向きになるのではないかと。
			電気機械製造	秋口までは増加傾向にあるため。
			食料品製造	今年も猛暑の予想なので減税でエアコンの購入などありかも。
		県南	飲料品製造	各地で夏に向けて祭りが盛んに行われ、その準備などで盛り上がっている風潮。観光客などの動きも活発化するだろう。
			建設	今後は、花火大会、各種祭りなどのイベントも予定され、天候に恵まれると景気回復の足がかりにはなれると思う。秋の行楽シーズンで国内旅行やインバウンド景気で底上げされるかもしれない。しかし、依然財布の紐は固くし、余計な出費はできるだけしないような動きになると思う。
		下北	食料品製造	これからいろんな所でイベントが行われ、人の動きがあると思われる為。
	雇用	津軽	新聞社求人広告	コロナが明けて2年の夏。夏祭りや秋の行楽、出来秋に期待。
変わらない	家計	東青	娯楽業	不安定な状態が続くと思います。
			レストラン	夏場はどうしても暑さで売上が落ちるような。今年は去年よりもねぶた期間中の予約が入ってきてるので、少し期待はしてるがどうなるかは読めない状態。
			卸売業	インバウンドの消費動向も変わりつつあり、爆買いの様な盛り上がりが無い。
			美容院	良くなったと思うのでこのままという事です。お客様の回る回数も多くなったようです。
			設計事務所	この季節に上向きになる要因はお祭りで人々の往来が多くなり経済効果が上がります。その効果が持続すれば地域の人々にも恩恵がもたらされるのですが！実質賃金がプラスにならず厳しい状況でこの先推移していきます。
			家電量販店	物価高の長期化で消費者の節約志向は続くが、夏祭りシーズンを迎えるにあたり、円安の影響で訪日外国人の購買意欲が高まりサービス消費が好調となる。また値上げ品目数は減少傾向にあり、価格上昇は減衰するとみられる。
			ガソリンスタンド	インフレが加速し、消費はますます縮小して行くような気がする。
			タクシー	週末の人の出が以前ほど感じられないし、週前半は酷いものだ。むしろ昨年のコロナ明け直後よりも悪いかも。帰宅時間も早まり、生活消費物価の高止まりも著しく家計を圧迫する力は思った以上に強いと感じている。人々の暮らしも既に守りの体制に入ってしまったように感じるし、景気がいいのは円安の恩恵を受けている外国人だけで、日本人はひたすら我慢を強いられている。対岸の火事だったいわゆる「観光公害」も身近に迫ってきている様だ。キャッシュレスの加速と新紙幣発行のタイミングも現象としては矛盾しているのかも。
		津軽	設計事務所	物価高。コロナ禍はいろんな補助金があったが今は全くない。あってもお米券で商店街には関係ない。

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	津軽	レストラン	物価は上がっているが収入は変わらない為。
			美容院	円安不安、物価高、ライフライン代の高騰不安など給料アップも追いついていない。インフレは今後も続くと思えないから。
			家電量販店	物価上昇・電気代の値上げなどによる家計負担。
			住宅建設販売	現状の推移は、そのままだと感じられるので。
			都市型ホテル	未だ先行きは見えづらい。
		県南	衣料専門店	実質賃金の値上げ無し(地方)生活コストの値上げ、食料品コスト、エネルギーコスト、サービスコスト等。
			タクシー	物価高騰、燃料高止まりなど、景気が良くなる要素が見当たらない。
			美容院	買物も工夫している様ですが、まだまだ心配は長引くと思います。新札発行がどれだけ+、-になるか気にかかります。
			住宅建設販売	新規来場者数が変わらない。
			乗用車販売	足元の景気が不安定であり、自動車販売業界全体においても解決されていない課題が残されている状況が続いている。
	下北	都市型ホテル	一般飲食店	七月、八月はお祭りがあつたりして人出は多いと思うが、それが昨年以上とは難しい気がします。気候に左右されそうな様子もある。飲食の業態でも様々な違いがあるようです。
			コンビニ	秋ごろまではこの良い状況が続くと思いますが、現状以上に良くなる要素は今のところ見当たりません。
	企業	東青	経営コンサルタント	小売・サービス業については、価格転嫁は進んできている。円安や今後のさらなる食品関係の値上げにより節約志向が高まり、景気は下向すると思われるが、コロナ感染症の位置付けが5類に移行してから2年目の各地の夏祭りによる経済効果が期待され現状は維持されると思われる。
			広告・デザイン	現状のような経済状況なのでお客様も節約モードで、以前は発注していた仕事を自社で処理したり、他社や県外の業者から見積りを取りコストダウンをする傾向が高まっている。
		県南	経営コンサルタント	円安傾向は、引き続き、継続していくと思われる為。
			電気機械製造	戦争が終わったり電気自動車(BEV)の実用性が上がるなど何らかの変化が起これば良いと思いますが、3か月先位では変化は少ないと思います。
			食料品製造	物価上昇に所得が見合っていない。
	雇用	東青	新聞社求人広告	景気が上向きに転じるきっかけとなる材料が見当たらない。
			人材派遣	お祭り等はあるが、お祭りへの出費分普段の生活で抑える傾向になりそう。
			求人情報誌	この先も物価高が緩和される要素がなく、労働者の手取りが劇的に増えない限り、生活が楽になる想像ができないから。
		県南	人材派遣	今後も当面、人材不足(採用難)は変わらない様に感じます。
やや悪くなる	家計	東青	住宅建設販売	7月～9月においては夏祭り等のイベントで一時的に飲食含め景気上昇感はあると思うが、物流・建設や初期コストが必要な業界については原価アップの影響が出始める時期であると思う。
		津軽	一般飲食店	増税に対する不安。
			観光名所等	物価上昇率より賃金が上昇していないため。

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなる	家計	津軽	一般小売店	物価の上昇が給与所得の上昇をはるかに上回っているため、消費に回す支出を減らさざるを得ない感じである。
			衣料専門店	物価高。コロナ禍はいろんな補助金があったが今は全くない。あってもお米券で商店街には関係ない。
		県南	旅行代理店	物価対策がまったく見えない。
			卸売業	夏の特需時期を過ぎれば買い物や宴会などが落ち着くため。
			レストラン	中心街に人が来たくなるような街づくりをしない限り悪くなると思う。
			観光名所等	今後も、売上が上向くような生産がなく、良くなるとは思われない。
			百貨店・スーパー	円安の影響や、商品の値上げの影響が今後も続くと思われる為。
			ガソリンスタンド	中小企業の多い当地方において、物価上昇を上回る賃金上昇は難しい。企業努力はあるものと思われるが、大手企業と中小企業勤務者の二極化、格差の拡大、賃金上昇が叫ばれるが、中小企業において、人手不足、生産性の向上が進まず、また生産品、商品の価格転嫁が進まず、コスト増となる中で、適切な政策が期待できない中で、景気が良くなると考えるのは楽観的過ぎるのではないか。
			コンビニ	円安基調は変わらず、燃料、エネルギー価格の上昇が見込まれるため。
			百貨店・スーパー	原材料費の高騰、円安に起因する物価上昇、年末に向け2024年問題による時間外労働規制の調整が始まるであろう為。
		下北	レストラン	物価高騰のため。とくにお肉の値上げがすごい。
			百貨店・スーパー	減税等で消費拡大を図ろうとしているが、先行き不安のため消費に向かわず、貯金等の内部留保に向かっている部分が多数。



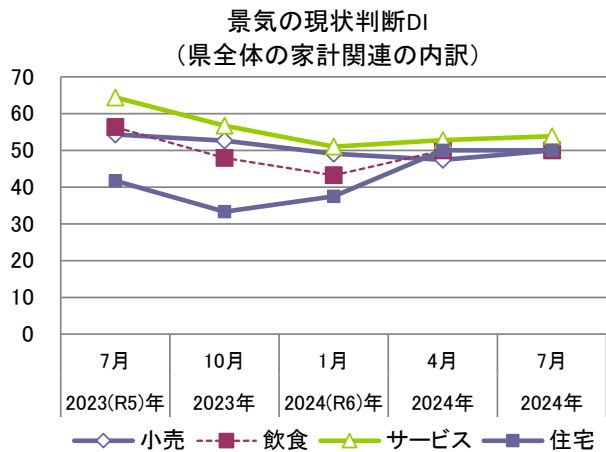
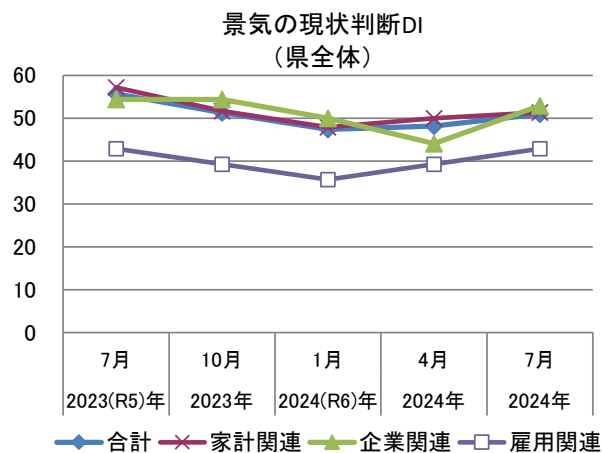
5. 参考

(参考1) 景気の現状判断

①DI

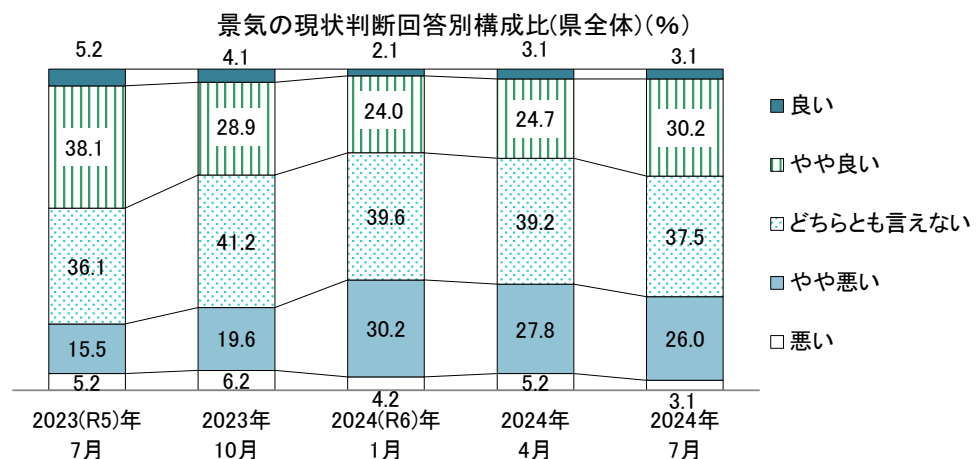
n = 96

	2023(R5)年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	前期調査 との差
合 計	55.7	51.3	47.4	48.2	51.0	2.8
家計関連	57.2	51.7	47.9	50.0	51.4	1.4
小売	54.3	52.6	49.1	47.4	50.0	2.6
飲食	56.3	47.9	43.2	50.0	50.0	0.0
サービス	64.4	56.7	51.0	52.8	53.8	1.0
住宅	41.7	33.3	37.5	50.0	50.0	0.0
企業関連	54.4	54.4	50.0	44.1	52.9	8.8
雇用関連	42.9	39.3	35.7	39.3	42.9	3.6



②回答別構成比 (%)

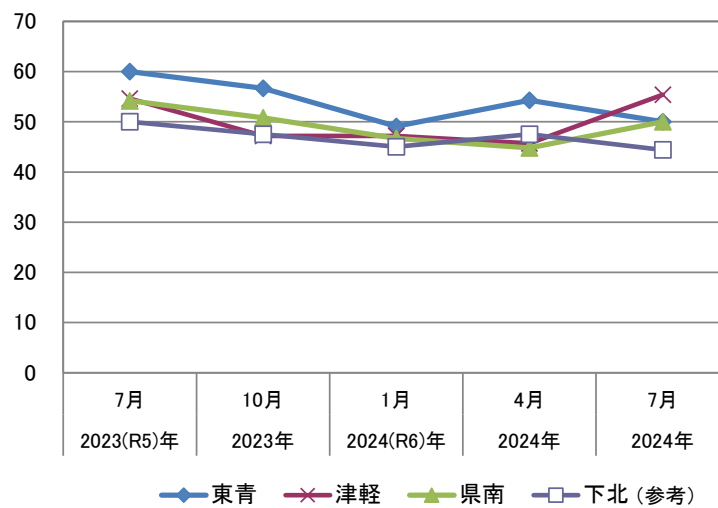
	2023(R5)年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	前期調査 との差
良い	5.2	4.1	2.1	3.1	3.1	0.0
やや良い	38.1	28.9	24.0	24.7	30.2	5.5
どちらとも言えない	36.1	41.2	39.6	39.2	37.5	▲ 1.7
やや悪い	15.5	19.6	30.2	27.8	26.0	▲ 1.8
悪い	5.2	6.2	4.2	5.2	3.1	▲ 2.1



③地区別DI

	2023(R5)年 7月	2023年 10月	2024(R6)年 1月	2024年 4月	2024年 7月	前期調査 との差
合 計	55.7	51.3	47.4	48.2	51.0	2.8
東青	60.0	56.7	49.1	54.3	50.0	▲ 4.3
津軽	54.6	47.2	47.2	45.7	55.4	9.7
県南	54.2	50.8	46.7	44.8	50.0	5.2
下北	50.0	47.5	45.0	47.5	44.4	▲ 3.1

景気の現状判断DI  
(地区別)





## (参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	百貨店・スーパー	客船の増加などの影響から、外国人観光客の影響額は前年に比べ大きく伸びている。
		衣料専門店	国全体の景気は好調と報じられている。税収が増えていることから間違いないことであろう。だが個人消費は不調と言われる。原因は物価高・低賃金…と言われる。確かに実感はある。でも、生活にどうしても不足しているものがそんなにあるだろうか。ある程度の需要が満たされている。消費の志向が変わってきているようです。リサイクル業界が注目とか従来の（私の思い）古着というイメージではないのかもしれませんが。そこには購入者の想いと感性が含まれている。クラシック・カー、他にないもの、民芸品、アーティスト作品なども。「他にない」価値が消費行動に？
		商店街	雪が少なかったり暑さが厳しく長くなったりしていることが続き、これまでの経験とは違う天候状況が、農産物水産物に及ぼす影響が大きく懸念される。結果、経済活動の大きな停滞に繋がらないか、これまで例のないことが続いて起きているわけなので、そのあたりは非常に不安材料ではある。
		一般飲食店	物価が上がって、色々がまんしてという話を聞きます。消費者としてやはりお金を出す際高いなと思うことも多いですが、対応することによって比例する様に来店者が少なくなってしまう、対策をねって来店させる努力がこれまで以上必要な近頃です。
		レストラン	とにかく輸入の食材が上がる一方で、まだまだ落ち着かない。これに伴い値上げも考えてるが、地元のお客さん離れになるのでは…と考え中。国内国外の出来事を見ても、あまりいい話題がないので、せめて青森県はねぶた祭りで盛り上がり人が動いてくれれば。オリンピックなども。
		スナック	私達、夜の営業者として頑張っておりますので、知事さんに多少なりのお気持ちを応援して頂きたいと思っておりますがいかがなのでしょう。
		観光型ホテル・旅館	個人客の割合が更に高まり単価上昇に繋がっている。対して、修学旅行や学生団体の受け入れ施設が減少しているのは課題か。
		美容院	生活していく物には、それなりにみなさん頑張っているようですが浪費するということはないと思います。
		娯楽業	7月からの新札に対応する設備投資が大変なのと、設備、建築、土木工事を発注していますが、異常に高騰しています。収益は横ばい、コストはアップで損益分岐点が益々高くなっていくように思います。
	津軽	衣料専門店	補助金事業（プレミアム商品券など）の事業をして欲しい。
		一般小売店	商店街にある百貨店から、いろいろなテナントが撤退中で中心商店街が厳しい状況になってきている。市は老人の健康やねぶたにばかり施策をうっているが、市の経済対策をしっかりとしてもらわないと、ますます若者の人口減がすすみ、市の衰退に拍車がかかる状況になってきていると思う。
		商店街	ガソリンが値下がりせず辛い…。130円台になってほしいものです。
		観光名所等	購入単価が物価上昇にともなっていない様に感じる。
		旅行代理店	宿泊費、貸切バスなどの交通費がかなり割高になっている。 円安の影響もあり海外旅行に出かける人が激減している。
	県南	設計事務所	海外に行ってみると確信しますが、比較すると日本は格段に物価が安いと感じます。外国人が日本で3000円の味噌ラーメンを安いと言ってニュースが放送されていましたが本音だと思います。値上げが止まらないような日本の状況ですが、まだまだ物価は上がるのではないかと思います。
		一般小売店	食品スーパー等は物価対策としての割安感のある増量セールや値引等、決して単価が上がり続ける事を良しとしない流れがある。

分野	地区	業種	自由意見
家計	県南	観光名所等	暑い日が続き、実割れがおき、昨年よりさくらんぼの売上が大幅に減少した。
		旅行代理店	円安で外国人が利用するところの売上は上がるが、それ以外は給与が横ばいで物価のみがあがる為、国内的にはよくない。
	下北	タクシー	当市に大手小売店がオープンして、連日にぎわっているところを見ると、空き店舗が出ないように対策してもらいたいと思いました。
企業	東青	経営コンサルタント	税収は4年連続で過去最高を更新し、赤字企業も61%と年々減少している。物流の人手不足は、青森県では43%が不足という結果がでている。中小企業の賃上率は3.6%にとどまっており、人手不足は全業種に及んでいる。円高、物価高、人手不足、金利上昇のため、仕事はあるが資金調達は厳しくなり、倒産は増加傾向にあることが懸念される。
	津軽	建設	夏、秋に向けて値上げの話が出ている。大企業は春闘でよい条件をもらったと思うが、地方はなかなか簡単にいかない。ましてや、高齢者になってくると賃上げどころか引下げだ。どうすればいいのか、生活できるのか不安だ。外国では今だに戦争を続けている。早く終わらせてほしい。
	下北	食料品製造	まだ物価が高くなっている事が話題になっているので、景気が前のように戻っている訳ではないのかなと思います。
雇用	東青	新聞社求人広告	一般の飲食店でも外国人旅行者の姿を見かけるのが珍しくなくなりました。

# 青森県景気ウォッチャー調査について

## 1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

### (1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

○地域別・分野別の客体数

地 区	対 象 地 域	調 査 客 体 数			
		合計	家計	企業	雇用
東 青	青森市とその周辺町村	30	23	4	3
津 軽	弘前市とその周辺市町村	30	22	6	2
県 南	八戸市とその周辺市町村	30	21	7	2
下 北	むつ市とその周辺町村	10	9	1	0
		100	75	18	7

○分野別の業種・職種

家計関連	小 売	コンビニエンスストア、百貨店・スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、商店街、卸売業
	飲 食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、ガソリンスタンド
	住 宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

### (2) 調査事項

① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由

② 3か月後の景気の先行き判断とその理由

参考1 景気の現状判断

参考2 その他自由意見

### (3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

## 2. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、景気の現状または先行きに対する5段階の判断それぞれの所定の点数に各判断の構成比(%)を乗じて算出している。

評価	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が「(景気は)変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方性を表す目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県総合政策部統計分析課 統計情報分析グループ

tel : 017-734-9166

fax : 017-734-8038